



わたし、アナタ、min-na

No. 1

# そのすがたがうれしい

令和4年(2022年) 4月 8日 市立札幌開成中等教育学校便り  
〒065-8558 札幌市東区北22条東21丁目1-1  
TEL 011-788-6987(代表) FAX 011-781-5629  
HP <http://www.kaisei-s.sapporo-c.ed.jp/>

## 令和4年度の新学期を迎えるに当たって

校長 宮田 佳幸

開成の校長室はグラウンド側に面しています。そのグラウンド一面を覆っていた雪が解け始め、やっと土が見えてきました。今年は雪が多かったですね。思い返すと、2月の大雪は1度ならず2度も対応を迫られ、2回目については、2日間の臨時休校になるなど、学校だけではなく公共の交通機関も通常の運行に戻るまでに数日かかるという大きな災害に見舞われました。しかし、気が付けば、車道と歩道を隔てていた壁のような雪もなくなり、春を迎える季節となりました。桜前線が北上しており、札幌での開花も例年よりも早いようです。

新型コロナウイルス感染症に関しても、まん延防止等重点措置の発令がなくなりましたが、依然として感染者数の高止まりが続いており、学校においても全ての通常の活動に戻すにはまだできない状況です。しかし、その中でも、6年次生が行き先と時期を3度も変更し、この3月に関西方面への見学旅行を実施することができました(昨年度実施のため5年次生での実施)。まだまだいつも通りとはいかない状況ですが、学びを止めずに教育活動を進めていきたいと思えます。

最近、IBに関連した書籍として、「子どもが教育を選ぶ時代へ」(野本響子著、2022年2月、集英社新書)を読みました。その中に「学びは短距離走から長距離マラソンになった」という記述があり、「かつて、学びとは徒競争のようなもので、早期決戦で、早めに結果を出すことが大事でした。要は、いい大学に入れて「いい会社」に入ってしまうえば安泰で幸福だという価値観でうまくいっていた時代だった」と記されています。生徒たちが社会の中心となって活躍する20年から30年後には、今学んでいることすら時代遅れのものになっている可能性があります。これからの時代に重要になっていくのは「変化に対応するためのスキ

ル」を身に付けることであり、ダーウィンの「最も強いものが生き残るのではなく、最も賢いものが生き延びるのでもない。唯一生き残ることができるのは、変化できるものである」という言葉に通じるものです。生徒たちが本校の学びの中で身に付けていく根幹をなす部分であり、そのために導入しているのがIBでありSSHでありSELFです。

本校では、教員研修をICと題してほぼ毎週月曜日に行っています。ICとは、Inquiry Caféの頭文字をとったもので、日本語では探究カフェといったところでしょうか。ICでは、IBに関する研修をはじめ、生徒支援に関することや教育課程に関することなどについて、情報共有しながら、ワークショップなどを交えながら行っております。

今年度の初日である4月1日(金)に行ったICでは、私から今年度の学校経営方針の説明を行いました。開校から8年目を迎え、本校での6年間の学びを終えた学年も2つになりましたが、今一度、本校の教育の中心となっているIB、SSH、そしてSELFの3本柱をはじめ、その他の取組についても課題解決を図りながら、それぞれのさらなる深化を目指すことを掲げました。また、この2年間、コロナ禍の中での教育活動を行ってきましたが、学校の広報活動ができていない現状を受け、本校がどのような学びを展開しているのかなどを、ホームページや他のソースを活用しながら、積極的に外部に発信したいと考えています。

令和4年度がスタートしました。早く、コロナの影響を受けずに通常の教育活動ができることを願っているところです。保護者の皆様や関係する多くの皆様には、引き続き様々な場面で御理解と御協力、御支援をいただきながら、共に生徒の未来を創っていかれたらと思っています。

# Be a positive communicator!

MYP Coordinator : Thomas Belshaw



For over two years now, we have been dealing with the Covid-19 pandemic. It has prevented us from doing all manner of different activities. While it is my hope for this year that we slowly start to get back to normal, I am fully aware that regardless of the pandemic each year will present its own challenges. However, as an IB school, all aspects of school life are based on the learner profile attributes. One of these is "Risk taker". This means to face challenges head-on and find new and inventive ways of solving them. This is a stance that is invaluable here at Kaisei, both for students and staff. That having been said, many challenges cannot be solved alone. It is important that we work together and communicate with one another. As MYP coordinator this is one of my personal themes for this academic year; "Communication". I think it is important that we not just communicate but think also about the nature of our communication. As members of the Kaisei community, we all (Staff, students and parents) have a shared responsibility to communicate with one another. But perhaps more important than this to consider how we are communicating with each other. Is the communication positive and encouraging? Or is the communication negative? While it sounds like a trivial topic I would like to encourage all of us to think about the words we use to communicate with one another. Positive communication forms the base of effective collaboration and in the end will allow us to better overcome the challenges that we face. I hope that together we can continue to create an affirmative and stimulating learning environment. I look forward to a fun and exciting year ahead.

このまでの2年間、私たちはCovid-19のパンデミックに追われてきました。そのため、私たちはさまざまな教育活動を行うことができなくなり、我慢の日々を過ごしてきています。今年度こそ、徐々に平常の状態に戻したいというのが私の願いですが、パンデミックに関わらず、各年度に様々な課題が出てくるのは当然わかっています。しかし、IB校として、学校生活のすべての側面において、学習者像に基づいて教育活動を行っています。その一つが「挑戦する人」です。これは、課題や問題に正面から立ち向かい、新しい創意工夫で解決する方法を見出すことを意味していると、私は思っています。このスタンスは、開成の生徒にとってもスタッフにとっても、非常に重要なものです。とはいえ、一人では解決できない課題もたくさんあります。そのようなときは、お互いに協力し合い、コミュニケーションをとることが大切です。これは、MYPコーディネーターである私の今年のテーマの一つでもある「コミュニケーション」です。ただ伝えるだけでなく、コミュニケーションの取り方について考えることも大切だと思っています。開成というコミュニティの一員として、私たち全員(スタッフ、生徒、保護者)は、お互いにコミュニケーションをとるという共通の責任を持っています。しかし、それ以上に大切なことは、私たちがどのようにコミュニケーションをとっているかを考えることです。そのコミュニケーションは、前向きで誰かの励みになるものでしょうか？それとも、ネガティブなものでしょうか？些細なことに見えるかもしれませんが、私たち全員が、お互いにどのような言葉でコミュニケーションをとっているのか、考えてみてください。ポジティブなコミュニケーションは、効果的なコラボレーションの礎となり、最終的には私たちが直面する課題をより良く克服することを可能にするのです。こうやって、私たちが一緒に、肯定的で刺激的な学習環境を作っていきたいと思っています。今年もよろしくお願いします。(MYPコーディネーター:ベルショー・トマス)

※MYPコーディネーターは、国際バカロレアの理念を本校の教育活動に十分に反映させるための指導的立場にある教諭です。

## 令和4年度新職員紹介

氏名	教科等	前任校
蒲生 崇之	副校長	札幌平岸高
石井 敦子	事務長	山の手支援
柴田 翔	国語	元町中
林 恵子	国語	札幌旭丘高
結城 拓	社会	清田中
竹澤 瑞樹	社会	新採用
宮島 幸樹	数学	資生館小
ポニチ・ティアナ	数学	
大久保 昌史	数学	札幌新川高
菅原 雅子	数学	育休代替
西野 竜馬	理科	日章中
中西 敦子	保体	新採用

今野 秀樹	保体	札幌新川高
渡邊 柁輝	保体	育休代替
小松 陽	音楽	伏見中
大谷・マール・クリスティン	英語	
バーン・ジャスティン	英語	
今井 幸	養護	札幌平岸高
大西 那奈	事務	新採用
藤井 美幸	業務員	札幌平岸高
鳴海 寿恵	業務員	札幌大通高

時間講師 齋藤昇一(国語)石崎覚二(社会)  
小林雅樹(地歴)長谷川大雅(保体)  
布施喜明(理科)鈴木加奈(情報)

新職員の御挨拶は本校ウェブサイトに掲載しています

# 令和4年度 新職員からの ご挨拶

## 蒲生崇之（副校長）

この度、市立札幌平岸高等学校教頭から昇任した蒲生崇之（がもうたかゆき）です。大学院を卒業後、札幌市立学校に就職し、夜間定時制高校（星園）・単位制高校（旭丘）・三部制単位制高校（大通）・特別支援学校小・中学部および高等部（山の手）・普通コースとデザインアートコースがある平岸と、いろいろな経験してきました。本校でも、その経験を生かし皆様の役に立つことができれば、と思います。これからよろしくお願いたします。

## 石井 敦子（事務長）

この度、山の手支援学校から着任いたしました。今のところ、建物の大きさと職員の多さにただ圧倒されておりますが、この学校での充実した学びにより成長する生徒たちが世界に飛び立つ日まで、勇気と信念をもって教育に情熱を傾ける先生たちの良きサポートができるよう、事務職員を始め様々な職員、また関係者の方々と協働し、努めてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願致します。

## 柴田 翔（国語）

お隣の元町中学校より参りました。部活動はバスケットボールを担当します。生徒たちとともに楽しむことを大切に、学びの深まる授業や活動作りに取り組んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。

## 結城 拓（社会）

MYP2年生と3年生を担当します。教員となり15年目となります。子どもが3人いて、長男と次男が今年それぞれ小学生と幼稚園に入学・入園しました。慣れない環境でご迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、生徒と共に学び、成長していきたいと思っています。よろしくお願いたします。

## 竹澤 瑞樹（地歴）

今年の3月に教育大札幌校を卒業しました。みなさんが社会科をもっと学びたいと思えるような授業を作っていきたいと思います。一緒に様々なことを学び続けましょう！これからよろしくお願いたします。

## 宮島 幸樹（数学）

中学校から小学校、小学校から中等教育学校へと転勤して参りました。様々な校種で培った経験や考えを活かしながらも、開成中等教育学校で出会う生徒の皆さんと、共に学んだり行事などを行ったりすることを通して、新たな自分に出会いたいと思っています。生徒の皆さんと共に、今後様々なことにチャレンジすることをとても楽しみにしています。生徒・保護者・地域の皆様どうぞよろしくお願いたします。

## 林 恵子（国語）

生まれは新潟、高校を卒業してから東京と千葉で暮らし、約25年前に札幌に来ました。いろいろな環境で過ごしてきましたが、ここ開成中等教育学校で、これから皆さんとともにたくさんのことを学んでいくことに、とてもわくわくしています。どうぞよろしくお願いいたします。

## 中西 敦子（保健体育）

前は大阪府や京都市、シンガポール日本人学校中等部で教職に就いていました。教科は保健体育です。剣道を通じた世界中の剣士との出会いが、私の人生の豊かさに繋がっています。北海道の大自然を舞台に、素晴らしい学びの場を皆さんと一緒に創っていきます。どうぞ宜しくお願いします。

## 大久保 昌史（数学）

基礎期に所属します。これまでとの変化に戸惑いを感じながら、新しいことを学ぶ喜びを感じています。少しでも貢献できるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

## 今野 秀樹（保健体育）

平成11～19年まで札幌開成高校で勤務しておりましたので「かいせい」という校名の響きがとても懐かしく、またこの地で働けることに心から感謝しております。心機一転、新しいことへの挑戦、そして様々な変化に対応していくことを楽しみながら頑張っていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 渡邊 証輝（保健体育）

私は今まで野球、空手、アルティメットとたくさんのスポーツを経験してきました。スポーツを通して、生徒の皆さんと一緒に私も成長していきたいと思っています。歳も22歳と、先生の中で一番皆さんに近いと思うので、たくさん話しかけてください。よろしくお願いいたします。

## 西野 竜馬（理科）

白石区の日章中学校からきました。一年生の理科と四年生の生物を担当します。これからの未来を担う皆さんの学校生活に、教員として関われることを幸せに感じています。また、一年生の担任をさせていただきます。新入生と一緒に、一生懸命にひたむきに、そして毎日ワクワクしながら過ごしていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 小松 陽（音楽）

これまで市内の中学校で英語を教えながら、音楽活動を続けてきました。若い頃ハンガリーの音楽教育研究所で学んでいた折、先生から教えていただいた言葉があります。「音楽を愛することは、一生裏切らない友を持つことと同じ。」音楽が皆さんの大切な友となるように、一緒に学んでいきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

### ボニチ・ティアナ (数学)

My name is Tijana Bonic and I'm excited to start my first year as a maths teacher here at Kaisei! I'm from Sydney, Australia and until now I had been working as an English teacher at a kindergarten. With a new school year comes new experiences. I am looking forward to learning alongside you all this year!

### 大谷・マール・クリスティン (英語)

I'm excited to work with Kaisei's students. I'm from Los Angeles but have lived in Sapporo for 5 years and worked at many schools in different grades. My favorite age to work with is junior high and senior high school students. My hobbies include collecting old video games, gardening, and playing with my two cats! I can speak Spanish fluently and like to learn about other language. As a bilingual my hope is to help others enjoy studying new languages. Please come talk to me anytime!

### バーン・ジャスティン (英語)

I'm from Dublin, Ireland. At university, I studied archaeology and Old Irish language and culture. I worked in Italy for about two years. I taught jewellery making in Florence. I can speak Italian. I have many hobbies. I like hiking, camping, cycling, snowboarding, DIY, cooking, illustration and playing the violin. I also enjoy travelling around Hokkaido and Japan. I am looking forward to teaching at Kaisei secondary school. Thank you.

### 菅原 雅子 (数学)

こんにちは。昨年度大学を卒業し、今年度から数学を教えることとなりました。今年目標は「数学って面白いな」と思ってもらふこと、そして「もう少し菅原先生と話してみたいな」と思ってもらふことです。たくさん学んでたくさん悩んで、一緒に成長していきましょう！

### 鳴海 寿恵 (業務員)

初めて理科のお仕事を担当することになりました。新たな気持ちで一から頑張ろうと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

### 藤井 美幸 (業務員)

5年前に開成高校から異動して今年度中等教育学校に戻ってきました。進化し続ける学校に1日も早く慣れて、少しでも学校の力になれるように頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

### 今井 幸 (養護教諭)

皆さんが元気に学校生活を送れるように、心と体のサポート役として保健室にいます。4月は新しいスタートですね。緊張や不安もあると思います。少し疲れてグチりたいときは、いつでも保健室にきてください。待っています。どうぞよろしくお願いいたします

